

こんにちは!

No.187

令和7年2月1日

しばた議会です



なわとび、
だいすき!

- ★ どうする!? スロープカー
- ★ 消防団員と議員との懇談会

東船岡小学校校庭にて(昼休み)



「議会ネット中継」は
こちらから

下部工実施設計費に 882万円計上



12月会議は、12月9日から13日までの日程で開催されました。一般会計補正予算など11の議案が提出され、審議の結果すべて原案のとおり可決しました。また、専決処分の報告を2件受けました。

スロープカー更新工事の概要

昭和45年に船岡城址公園にリフトカーが整備されました。その後老朽化のため、平成8年10月に現在のスロープカーに更新しています。町の重要な観光資源であり、改修に伴い安全性・快適性を向上させる方針です。総事業費は約3億4千万円、工事期間は20か月を見込んでいます。

原因は老朽化

車両本体の主要部品である減速電動機ブレーキ装置の一部に異常が発生し、部品を交換したが、試運転中に同じ個所に電流の異常が発生し、再度緊急停車した。原因は、ブレーキ装置に送電する電気配線の経年劣化など、複数の原因によるもの。

工事の必要性

整備から28年が経過し、施設の維持費用が大きくなっていったこと、度重なる減速電動機ブレーキ装置の異常が起きたことなどから、緊急に更新工事が必要となりました。



利用実績



町のシンボルである船岡城址公園スロープカーは、運行開始から28年が経過。現在は、車両故障のため運行を中止しています。10月28日に行われた議員全員協議会では、スロープカー更新工事について説明がありました。12月会議では、3人の議員が、スロープカー更新について一般質問を行いました。その後、町からの情報提供や一般質問の答弁を基に、スロープカー更新工事の在り方など、論点を整理するため、議員間討議を行いました。

& ワールドカフェ

ねらい

議論の論点を整理し、議員間の理解を深めること

12月9日

12月会議に提出された議案に対して、論点整理のためのワールドカフェを行いました。



11月1日

10月28日に出された重要な政策課題について、ワールドカフェを行いました。



10月28日

町執行部から、重要な政策課題である各種事業の説明
・スロープカー更新工事に係る事業内容の説明

どうする町のシンボル

船岡城址公園のスロープカー



船岡城址公園スロープカー施設概要

- (1) 施設名称：船岡城址公園スロープカー
- (2) 竣工：平成8年10月
- (3) 施工業者：株式会社嘉穂製作所（福岡県飯塚市）
- (4) 仕様：跨座式モノレール（斜行エレベーター）
1両20人乗り2両編成（総定員40名）
軌道総延長 305m



今回の補正予算は、スロープカーのレールを支えている下部工を補強するための実施設計です。下部工とはレール下の支柱及び基礎の部分です。車両やレールとは別発

注となります。

まずは下部工部分の実施設計をし、更新工事の全体事業費を算出することになっています。

議会から 町では国に対し、既に採択されている都市再生整備計画を変更し、スロープカー更新工事関係が都市構造再編集中支援事業の補助対象事業となるよう協議をしています。議会として、今後の動きを注視していきます。

質疑 スケジュールは。
答弁 業者選定の入札は年明けになると考えている。業者決定後、現地調査をし、構造計算などを行う。年度末までには全体事業費の算出までもつていきたい。

質疑 議会に説明するタイミングは。
答弁 変更の協議を進めている。国からの回答はきていないが、状況が判明したら、全体事業費と併せて、速やかに議会に説明していきたい。

今後のスケジュールは

議員間討議

12月12日

- ・一般質問で確認できた
- ・情報はていねいに出してもらう
- ・今回の補正は下部工部分議案審議に向けて議員全員で確認しました。



議案第35号

学校給食の
材料費高騰分は町が負担

質疑 給食費に転嫁した場合の金額は。

答弁 当初予算で一食あたり50円増を見込んで予算を組んだが、さらに20円分の増額を行った。

質疑 材料費高騰分を町が負担していることの周知は。

答弁 町の負担状況については保護者に説明する。



858万円

材料費が高騰しても美味しい給食を

槻木体育館解体工事

実施設計委託料

528万円

質疑 なぜ解体工事の実設計が必要なのか。

答弁 解体エリアに住宅が密集し、解体工法全般にわたる設計が必要。

質疑 設計業務の委託費は、解体業者の見積もりで代行できるのでは。

答弁 近隣住民から解体中の影響を心配する声もあり、実施設計をすることで工事の安全性を確保する。



周辺に配慮した解体も重要

議案第32号

水道料金の値下げ

みやぎ型管理運営方式の導入による削減効果を料金に反映しました。

令和5年度の水道事業会計決算で、5千600万円の資金増加があり、基本料金を引き下げても、令和10年度末の購入単価の改定までは一定の営業利益が見込めることから、基本料金を改定します。

令和7年4月1日から
基本料金を330円

値下げ



引き続き節水を

議案第33号

下水道使用料の値上げ

令和7年4月1日から
基本使用料を330円

値上げ

阿武隈川下流域下水道維持管理負担金について、昨今の物価高騰、特に電気料金的大幅値上げによる影響があります。

また、今後、人口減少や節水型社会の影響で営業収益が徐々に減少すると予想されており、一定の収益確保が必要なことから、今回、基本使用料を改定します。



県南浄化センター（岩沼市下野郷）



みやぎ型管理運営方式とは

宮城県のホームページへ

● 審議結果

区分	主な内容	月日	出席者数	賛成	反対	議決結果	石森 謙明	伊東 潤	吉田 清	小田部 峰之	森 裕樹	加藤 滋	安藤 義憲	佐久間 光洋	平間 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	大坂 三男	佐々木 裕子	広沢 真	白内 恵美子	平間 奈緒美	高橋 たい子	
12月会議	議案第29号～39号	12.13	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※「○」は賛成を表す。 ※「議」は表決時に議長のため表決に参加していないことを表す。

本会議の出欠状況はこちらで確認できます→



○ 12月会議で審議した議案等の概要

- 議案第29号** 仙南地域広域行政事務組合の共同処理する事務及び規約の変更
仙南地域広域行政事務組合で共同処理する事務及び規約を変更するために議会に議決を求められたもの
- 議案第30号** 手数料条例の一部改正
戸籍及び除籍の電子証明書提供用識別符号の発行に係る手数料の追加などをするもの
- 議案第31号** 児童館条例の一部改正
令和7年4月に開館する船岡児童館の名前と位置を追加するもの
- 議案第32号** 給水条例の一部改正
- 議案第33号** 下水道条例の一部改正

※紙面の都合により、議案名を一部省略して記載しています。

- 議案第34号** 指定管理者の指定（地域活動支援センター）
地方自治法の規定により、地域活動支援センター「しらすぎ」「もみのき」の指定管理者を指定するもの
- 議案第35号** 令和6年度一般会計補正予算
- 議案第36号** 令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算
国民健康保険の保険給付費を増額するもの
- 議案第37号** 令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算
宮城県後期高齢者医療広域連合への納付金を増額するもの
- 議案第38号** 令和6年度水道事業会計補正予算
- 議案第39号** 令和6年度下水道事業会計補正予算
債務負担行為を定めるもの
※債務負担行為…町の予算は単年度で完結するのが原則ですが、後の年度においても負担(=支出)しなくてはならない場合に定める予算のひとつです。

一般質問

10人の議員が 町政を問う！

議員18人のうち10人が質問を通して、町に対し政策提案などを行いました

一般質問とは、執行部から提案される議案などに関係なく、行財政全般について大所高所からの政策を建設的立場で論議できる機会です。一般質問は、議員にとって最も華やかで意義のある発言の場とされています。

平間奈緒美 議員

P5

プレコンセプションケアの啓発を
●本町の人材育成基本方針は

秋本 好則 議員

P7

スロープカーは役割を終えたか
●日下文庫は歴史資料ではないか

吉田 和夫 議員

P6

公共施設に EV 充電器の設置を
●施設利用料金一括徴収できないか

桜場 政行 議員

P8

部活動地域移行の進捗状況は

大坂 三男 議員

P6

新図書館と郷土館の再構築を問う

白内恵美子 議員

P8

郷土館再構築事業の再検討を
●雨水管理総合計画の着手は
●新図書館基本計画は
●司書減員の学校図書館の現状は

石森 靖明 議員

P6

スロープカー更新で経済活性化を

佐久間光洋 議員

P8

スロープカー更新の概要は
●歩道に生える雑草の処理は

吉田 清 議員

P7

電子書籍の導入を

広沢 真 議員

P7

今後の財政運営はどうなる



プレコンセプションケアの啓発を



積極的に情報を発信したい

平間奈緒美

議員



子どもたちの健康のためにも

※プレコンセプションケア：将来の妊娠を考えながら女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うこと

問 若い世代の健康意識を高めるための「プレコンセプションケア」に対する町の見解は。
答 性別やライフステージに合わせた健康づくり、プレコンセプションケアに関する知識の普及啓発、青年期健診や子宮がん検診、成人歯科健診の継続実施、子宮頸がん予防のためのHPVワクチン接種の継続など、将来の健康につながる視点を持った対策の推進が、若い世代の心身の健康増進や健やかな妊娠や出産にも結びつき、未来の子どもへの健康にもつながると考える。
問 プレコンセプションケアについて、ホームページなどで積極的な発信をしてはどうか。
答 将来の妊娠のための健康管理について理解することが重要なことから、町ホームページに掲載し、積極的に情報を発信したいと考えている。



吉田 和夫
議員



Q 公共施設にEV充電器の設置を

A 設置に向けた検討を進める



町内にも着々と設置が進む

問 EV充電器設置には、国の充電インフラ補助金が活用できる。町として活用し設置する考えは。

答 今後、他の設置自治体を参考に、補助金の要件などを確認し検討する。なお、補助金は民間の充電器設置事業者が公共施設に設置する際に活用できる。

問 EV充電器の設置が増えることで、電気自動車購入の後押しになるのではないか。

答 購入の後押しになることは間違いはない。

問 2050年カーボンニュートラルに向け、設置は必要不可欠ではないか。

答 柴田町第3次環境基本計画の重点施策として、令和14年度の計画完了までに、充電ステーションの設置を目標としているので、設置に向けて検討を進める。



大坂 三男
議員



Q 新図書館と郷土館の再構築を問う

A 賑わいと歴史文化の拠点を目指す



賑わいあふれるエリアへ

問 新図書館の面積は1千500㎡の計画だが、狭いのでは。

答 限られた面積の中でも、子ども読書活動や心の豊かさを育むスペース、各世代の人が自由に集い、賑わいを生むスペースの確保について今後検討する。

問 新図書館の建設費は13億5千万円の計画だが、資材や労務費の上昇による増額はどの程度になる見込みか。また、国に対する増額負担の協議状況は。

答 約1億9千万円増の見込み。国とは変更案を協議中。

問 郷土館の再整備の内容は。

答 まちづくり推進センターが担ってきた事業に加え、歴史や文化、生涯活動団体への支援や相談会などを行い、団体同士の連携を図る。また、乳幼児や未就学児が遊べる屋内子ども遊び場を整備する。さらに、チャレンジショップやイベントの開催で、賑わいづくりにつなげる。

Q スロープカー更新で経済活性化を

A 観光戦略の強化で活性化を目指す



石森 靖明
議員



この風景をもう一度

問 更新のための財源は。

答 都市構造再編集集中支援事業の関連事業として認められれば、半額補助される。認められなくても有利な起債が活用できる。

問 ガバメントクラウドファンディングなども活用できるが。

答 導入に向けて検討する。

問 スロープカーの収入が全て指定管理者に入る現行制度の見直しが必要ではないか。

答 今後、直接町の収入となるよう料金収受代行制度へ見直す。

問 季節料金の導入などで、さらに収入を得る仕組みづくりを。

答 関係する条例の改正や制度設計の見直しなどで対応する。

問 更新工事に町内業者が参入することは可能か。

答 下部工や電気工事など、一部では地元業者の参入は可能。

問 更新期間中に観光を地域活性化につなげる具体策の検討を。

答 決意を持って取り組む。

Q 電子書籍の導入を

吉田

清
議員



A 将来的な導入を検討する



手軽に読める便利なツール

問 電子書籍は読みたい時にすぐに読め、図書館に行く必要もない。本や図書館に対する価値観が変わってきていると思うが、**答** メリット・デメリットはあるが大切な視点だと思う。**問** 電子書籍の導入について、町民からの要望はないか。**答** 若い人からの意見や要望はある。**問** 小中学校の電子書籍導入について、財源の問題が解消されれば早い時期に導入できるのか。**答** ランニングコストなどの問題から現在は検討していない。**問** 障害のある方や来館困難の方のために電子書籍が有効では。**答** 図書館では、自宅に本を届けるサービスを行なっている。**問** 多くの町民に図書館を利用していただくためにも、電子書籍の導入が必要ではないか。**答** 様々な課題もあるが、将来的な導入について検討したい。

広沢

真
議員

Q 今後の財政運営はどうなる

A 財政負担を増やさず進める



問 今後、数年にわたって厳しい財政運営が予想されているが、事業の優先順位をどう考えるか。**答** 町民から寄せられる要望は多岐にわたるが、全てをすぐには実現できない。大型事業は今後への布石として進めながらも、財政負担を増やさないように留意し、町民からの要望も実現していく。**問** 町財政の将来負担をどう考えるか。**答** 財政の将来負担は低いにこしたことはないが、生活インフラや大型プロジェクトの費用は世代間の公平負担も必要と考える。本町の財政指標はすべて健全性を保っているが、財政指標から見えない仙南地域広域行政事務組合の負担金や阿武隈急行の赤字補填など、不確定要素も多くある。今後も年度途中にコントロール不能にならないような予算編成や財政運営に努める。



建て替えが予定される車庫棟

Q スロープカーは役割を終えたか

秋本

好則
議員



A 役割を終えたとは考えていない



私が望む里山風景

問 スロープカーの故障は船岡城址公園の在り方を見直す契機。この際、撤去して体験や食文化を発信する拠点としてはどうか。**答** 担い手などの問題から困難。スロープカーは近年、インパウンドの利用が増えており、シンボルの施設として更新したい。**問** スロープカーが仮に20年間使用できるとした場合の、適正な利用料金は。**答** 更新の全体事業費などがまだ分からず、計算できない。**問** 来町者の増が経済効果につながるというが、その理由は。**答** 経済効果は投資額に応じる。観光での経済効果は広域的視点となり、本町だけの具体的な経済効果は分からない。**問** 経済効果を出すには本町での滞在時間を延ばし、宿泊してもらうことが必要ではないか。**答** 他町で宿泊し、本町で観光してもらう策を考える。



桜場 政行
議員



Q 部活動地域移行の進捗状況は

A 令和7年度中から段階的に進める



スムーズな地域移行を

問 兼職兼業を希望している教職員の人数は。

答 町内中学校の教職員63人を対象としたアンケートでは、兼職兼業を希望するが9人、どちらともいえないが26人。

問 休日の部活動地域移行の進捗状況は。

答 計画段階ではあるが、令和7年度中に、町内3中学校にある部活動16種目のうち、男子バレーや男女のバドミントンなど6種目を休日に地域クラブ活動へ移行することを検討している。

問 休日の部活動完全移行はいつまでの実施を考えているか。

答 既存の部活動全種目のほか、新規種目も加え、令和10年度には地域クラブ活動へ完全移行できると進める。

問 地域クラブに参加する生徒の費用負担は発生するのか。

答 令和10年度までは、生徒からの負担は考えていない。

白内恵美子
議員



Q 郷土館再構築事業の再検討を

A 集客力のある子ども遊び場とする



郷土資料の取り扱い

住民懇談会で郷土館再構築事業の説明があつたが、住民には唐突で理解困難だったと思う。

問 住民団体が新図書館と郷土館再整備についての要望書を提出した。早い段階で住民の意見を聴くべきだったのでは。

答 住民の意見などは議会での議論を踏まえ事業に反映しているほか、住民からの意見を直接聞く仕組みも整えている。住民団体には町の考え方を説明した。

問 現在、郷土資料コーナーは新図書館の中に設置する計画。

しかし、住民団体は郷土資料を郷土館に設置すれば、新図書館内に子どもコーナーのスペースができるのではないかという思いで要望したのでは。その思いを受け止め、再検討すべきでは。

答 郷土資料コーナーに来る人は限られており、現図書館を子ども遊び場として再整備した方が全体的な集客力は高まる。

Q スロープカー更新の概要は

A 安全性や快適性、速度向上を図る



様々なイベントで活躍

佐久間光洋
議員



問 スロープカーの更新は単なる修理ではなく、規模拡大の方法も考えられる。更新は現在のルートでの計画か。船岡城址公園下の駐車場から山頂まで路線を延長する方法も考えられるが。

答 駐車場からのルートは調査設計業務や文化財調査、設置経費などの観点から難しい。現ルートで、安全性や快適性、収益性を上げることが検討される。

問 スロープカーは自動走行するため運転士が不要だ。自動券売機やスマートフォンでの決済方法なども併せて導入すれば人件費の削減が可能と考えるが。

答 観光施設として利用料金を徴収するため、観光ガイド、点検などの安全対策、緊急時の避難誘導に対応するスタッフは必要。自動券売機の設置は、管理運営や収益面で効果があるか、指定管理者と前向きに協議し、導入に向けて検討する。

各議会からの視察を受け入れました



11月15日
山形県高畠町・広報広聴常任委員会

- 議会懇談会
- SNSによる情報発信
- 議員問討議体験



11月12日
北海道空知地域町村議会議長会

- 公開議員研修会の運営手法と実績
- 議員問討議体験



10月31日
埼玉県桶川市・議会運営委員会

- 議会基本条例について
- 議員問討議体験



議会発

出前授業 を開催しました

11月21日に槻木中学校で、11月27日には船迫中学校で3年生を対象に出前授業を行いました。講師は高橋たい子議長、平間奈緒美副議長が担当しました。

槻木中学校 11月21日



槻木中学校では、3つのクラスそれぞれで授業を行いました。議長が議会の仕組みを、副議長が議会の取り組みを説明。そして、生徒たちが事前にとめた柴田町の魅力や問題点に対する自分なりの解決案(例えばゴミのポイ捨て問題であればゴミを捨てることは自分でもできるなど)についてコメントしました。

船迫中学校 11月27日



船迫中学校では、議会の仕組みと取り組みの説明をしました。その後、2クラス合同でグループ毎に話し合いをし、問題の解決案をまとめて発表しました(少子高齢化、地域公共交通問題など)。各校の生徒たちはメモを取りながら真剣に自分事という意識で取り組んでいました。

柴田町の魅力や問題点について
考えました

各委員会行政視察報告

2年間の委員会活動で、先進地に学びます。

総務

常任委員会

(令和6年5月15日～17日)

視察事項

《研修Ⅰ》 広島県大竹市

- 住民や自主防災組織等に対する防災の取り組み
- 防災リーダー育成事業
- 自主防災組織の取組

《研修Ⅱ》 広島県熊野町

- 住民や自主防災組織等に対する防災の取り組み
- 熊野町防災・減災まちづくり条例
- 熊野東防災交流センター



文教厚生

常任委員会

(令和6年8月6日～7日)

視察事項

《研修Ⅰ》 埼玉県久喜市

- 不登校児童・生徒への支援について

《研修Ⅱ》 埼玉県三芳町

- 3Aプランの推進による教育相談や不登校予防への対応について



産業建設

常任委員会

(令和6年1月17日～19日)

視察事項

《研修Ⅰ》 岡山県矢掛町

- 世界初のアルベルゴ・ディフーズタウン矢掛町の観光まちづくりについて

《研修Ⅱ》 岡山県津山市

- 旧荻田家付属町家群リノベーション事業について

《研修Ⅲ》 広島県尾道市

- 海運倉庫を活用したサイクルフレンドリーな複合施設について



議会広報

常任委員会

(令和5年10月10日～11日)

視察事項

《研修Ⅰ》 岩手県西和賀町

- 議会の広報活動について
- ・「議会だよりにしわが」の編集方針について

《研修Ⅱ》 岩手県雫石町

- 議会の広報活動について
- ・掲載写真の撮影について
- ・町民参加について



議会運営

委員会

(令和5年10月10日～11日)

視察事項

《研修Ⅰ》 長野県飯田市議会

- 地方議会評価モデルについて
- 議会による行政評価から次年度予算編成への反映の運営について

《研修Ⅱ》 長野県宮田村議会

- 主権者教育と議会むらびと会議について
- 決算認定審査を充実させるための決算評価について



令和6年度
議会懇談会

令和6年11月12日実施

10年後も消防団を維持していくためには何をすればよいか？

柴田町消防団員18名と 議員18名との懇談会



8グループに分かれてワールド・カフェ方式での懇談会を実施しました

テーマ①
消防団の活動で困った
(気になった)ことは

- 消防団の活動に住民の理解が得られない。
- 団員が高齢化し、活動が大変。
- 小型ポンプ運用の最低人数が集まらないことも。
- 団員募集の仕方はどうなっているのか。
- 団員不足で班での活動がうまく回らない。

テーマ②
それを解決するためには
どうすればいい？

- お祭りや大学祭などで、消防団のブースをつくって周知をする。
- 広報しばたなどで消防団を大きく取り上げてPRする。
- SNSの活用で団員を募集する。
- 本日の意見など、消防団幹部会で共有してほしい。
- 班の統廃合など、活動単位の整理が必要ではないか。

消防団は、震災、火災、水害などの様々な災害発生時だけでなく、平時においても地域に密着し、多様な役割を果たしており、その活躍が今後も期待されることです。しかし、消防団員数の減少に歯止めがかからない状況です。そこで、消防団の現状や意見を団員や団員OBから直接伺い、その声を今後の議会活動に活用したいとの思いから懇談会を実施しました。



班の維持が難しい

誘っても入団してくれない

若い世代の団員がない

訓練なくして本番なし

一家に一人は消防団に入る

出初め式は、船岡・槻木での
交互開催を

オートマチックのポンプ車が足りない

火災発生時に
団員が町内にいない



懇談会終了後には「有意義な時間だった」「今後も定期的で開催してほしい」という感想をいただきました。

今回の懇談会では、消防団員ならではの視点から様々な意見や要望がありました。今後、議会の委員会活動や、議員個人の一般質問などを通して、町の課題解決につながるよう取り組んでいきます。

文化の日 功労者表彰

令和6年10月31日、宮城県自治功労者として3名の議員が表彰されました。多年にわたり、議員活動を通じて地方自治の確立と住民福祉の向上への尽力が認められました。



平間奈緒美副議長 高橋たい子議長 佐々木裕子議員

サークル紹介

町内で活動している
サークルを紹介します

仙南マジック・クラブ

2025年でクラブ結成12年目を迎えます。
毎月第3水曜日の17時から21時まで、しばたの郷土館で定例会を開催しています。
定例会では、集まったメンバーでお互いマジックの技に磨きをかけています。また、当クラブは、マジックの習得だけを目的とせず、クラブへの参加を楽しんでもらうことも必要と考えています。
クラブ内には「ジャグリング」・「銭太鼓」・「玉すだれ」などのグループ活動もあり、様々な技に出会うことができます。
依頼があれば「出前マジックショー」など、各地域のイベントに参加し、マジックを披露しています。ぜひお声がけください。
定例会や、クラブの活動に興味のある方、見学も可能ですので、事前にお電話かメールで連絡のうえお越しください。

連絡先：仙南マジック・クラブ（略称・SMC）
事務局：080-4515-4054（13時以降） 寺島
メール：tmksy2003@gmail.com



東船岡小学校鼓笛隊



柴田町総合体育館完成記念披露
(令和6年12月1日)

編集を終えて

寒さが厳しい季節ですが、いかがお過ごしでしょうか。今年度のわが町を振り返りますと、総合体育館の完成など、一歩一歩進んでいる半面、船岡城址公園では、観光の目玉であるスロープカーが故障してしまいました。早い復旧を期待するとともに、観光事業の新たな見直しが必要とと思っています。
新しい年を迎え、一か月が経ちますが、世界的にも平和な社会が訪れますようお願いいたします。

(伊東 潤)

議会広報常任委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 加藤 滋 |
| 副委員長 | 平間 幸弘 |
| 委員 | 石森 靖明 |
| 委員 | 伊東 潤 |
| 委員 | 吉田 清 |
| 委員 | 小田部 峰之 |
| 委員 | 平間 奈緒美 |

2月会議の予定

2月会議は **2月17日**(月)
午前9時30分開会予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

議会からの情報発信

柴田町議会の活動を発信しています。ぜひご覧ください。



このしばた議会だより 187号は、約16,700部作成しています。1部当たりの経費は約65.12円です。